

上サロベツ自然再生協議会の取組

1 再生内容

湿原の再生

国立公園であるサロベツ湿原と農地が隣接する北海道豊富町において、農業と共存した湿原の再生に取り組む。

2 自然再生協議会

平成17年1月に組織化し、現在の構成員数48。

個人(専門家を含む)28、団体14、関係地方公共団体2、関係行政機関4

3 自然再生全体構想

平成18年2月に作成。

○自然再生の対象区域

主として豊富町内の国立公園である上サロベツ湿原の区域。

○自然再生の目標

優れた自然景観を備え学術的に価値の高いサロベツ湿原の保全と、自然の恵みのなかで営まれる農業との共生を目指す。

①高層湿原の自然再生、②ペンケ沼の自然再生、③泥炭採取跡地の自然再生、④砂丘林帯湖沼群の自然再生に係る目標のほか、農業の振興や地域づくりについても目標を設定。

4 自然再生事業実施計画

○上サロベツ自然再生事業 農業と湿原の共生に向けた自然再生実施計画

(平成18年7月作成、実施者：豊富町、サロベツ農事連絡会議及び国土交通省北海道開発局稚内開発建設部)

①農用地と湿原が直接隣接する箇所内の、湿原の地下水位に影響を及ぼしていると推察される農用地側に緩衝帯を設定し、湿原の乾燥化を抑制する。②整備する農業用排水路に設置される沈砂池を適正に維持管理することで、農用地から河川に流出する土砂を軽減する。

【進捗状況】

<北海道開発局>緩衝帯及び沈砂池の設置、緩衝帯実証試験地モニタリングの継続。

○上サロベツ自然再生事業実施計画

(平成21年7月作成、実施者：環境省北海道地方環境事務所)

①水抜き水路の堰き止めによる地下水の流出抑制、②ササ生育地の拡大を防ぐための手法確立、③サロベツ原生花園園地跡地における盛土表層の剥ぎ取りと泥炭の撒き出しによる植生回復、④泥炭採掘跡地における湿原植生の再生等を実施。

【進捗状況】

①水抜き水路の堰き止めを実施(2箇所)、②サロベツ原生花園園地施設を撤去し盛土表層の剥ぎ取りを実施、③再生工事に使用する泥炭のストックヤード整備、④地下水位、水質、植生等についてモニタリングを継続。

○稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画

(平成24年3月作成、実施者：林野庁北海道森林管理局)

①砂丘林帯湖沼群の水位低下の抑制、②砂丘林の修復及び保全

【進捗状況】

- 平成24年度より落葉広葉樹・トドマツの植栽を実施。
- 平成24年度より堆雪柵の設計等調査を実施。

上サロベツ自然再生協議会



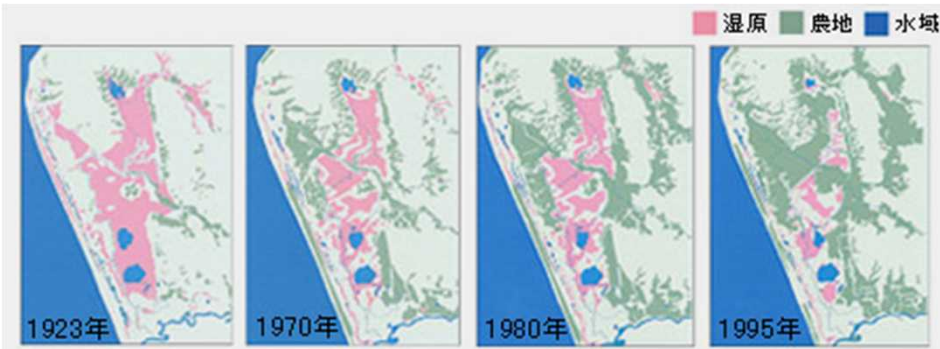
自然再生の対象となる区域(全体構想より)



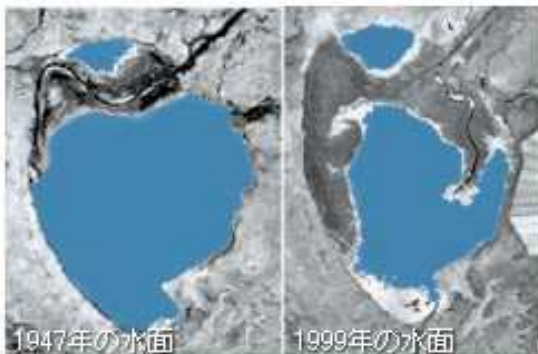
泥炭採掘跡地の開放水面



農地の地盤沈下
手前の牧草が奥の湿原より
1mほど低くなっている



サロベツ地域における湿原の減少と農地の拡大



ペンケ沼の埋塞
上流からの土砂流入等により水面が約半分に減少



排水路の設置による乾燥化の進行
湿地に隣接する農地での排水不良